

スクール・デイズ (1988)

SCHOOL DAZE

メディア 映画

ジャンル コメディ 学園 ミュージカル

製作国 アメリカ

時間 120分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

アメリカ南部のミッション系大学。在校生のその殆どが黒人のこの学校には、ある2つのグループがあった。1つは、南アフリカの人種隔離政策に反対しブラック・アイデンティティを説く運動家ダップが中心となっている“フェラ・クラブ”。そしてもう1つは、黒人でありながら白人に憧れ、彼らのように振る舞おうとするフラタニティが中心の“ガンマーズ”。この余りに思想の違う2つのグループの間は勿論、犬猿の仲。日頃から校内のあちこちで顔を合わせては、火花を散らしていた。そんなある日、ダップの従弟であるハーフが、よりによってガンマーズに入りたいと彼に相談してきた。困り果てた彼は反対したが、彼はダップの言うことを聞かずに入部を申し出る……。黒人のアイデンティティ確立の問題は、かのマルコムXも説いてきた問題点であり、またスパイク・リー監督も、彼の全作品の底辺に流れている、まさに“核”となるべき要素である。彼は、傑作「ドゥ・ザ・ライト・シング」や「ジャングル・フィーバー」でも力強くこの問題に言及しているが、本作は、その自身の思想や哲学に、皮肉をたっぷり盛り込んだミュージカル作品。イキな会話、シャープな映像、センスのいい音楽など、軽やかに描きながらもその奥にドッシリとしたテーマを内在させているこの作品には、すでにこの時点で彼の映画作家としての手腕が完成しているというのが十分に窺える。映画のラスト、“WAKE UP”のセリフにその全ては凝縮されている。

【クレジット】

監督	スパイク・リー	Spike Lee
製作	ロレッサ・C・ジョーンズ	Loretha C. Jones
	モンティ・ロス	Monty Ross
製作総指揮	グレイス・ブレイク	
脚本	スパイク・リー	Spike Lee
撮影	アーネスト・R・ディッカーソン	Ernest R. Dickerson
編集	バリー・アレクサンダー・ブラウン	Barry Alexander Brown
音楽	ビル・リー	Bill Lee
出演	ラリー・フィッシュバーン	Larry Fishburne
	ジャンカルロ・エスポジート	Giancarlo Esposito
	スパイク・リー	Spike Lee
	オシー・デイヴィス	Ossie Davis
	ティシャ・キャンベル	Tisha Campbell
	カイク	Kyme
	ジョー・セネカ	Joe Seneca
	エレン・ホリー	Ellen Holly
	アート・エヴァンス	Art Evans
	ビル・ナン	Bill Nunn
	ジェームズ・ボンド三世	James Bond III

ブランフォード・マルサリス	Branford Marsalis
カデーム・ハーディソン	Kadeem Hardison
エリック・ペイン	Eric Payne
サミュエル・L・ジャクソン	Samuel L. Jackson
ジャスミン・ガイ	Jasmine Guy
ドミニク・ホフマン	Dominic Hoffman
ケヴィン・ロック	Kevin Rock